

本太中だより

第4号

さいたま市立本太中学校

048(886)4305

<http://motobuto-j.saitama-city.ed.jp>

E-mail motobuto-j@saitama-city.ed.jp

令和7年7月1日

Be the Player.

うちの生徒、職員、すごいです。うちの保護者、地域も、すごいです。

校長 田中 一秀

さいたま市学校総合体育大会が終わりました。サッカー部の優勝をはじめ、多くの部活動において、別記のように大変素晴らしい結果を残すことができました。残念ながら悔しい思いをした部活動もありましたが、悔しいという思いをしたということは、この大会に向けて懸命に努力した証拠です。皆さんに拍手を贈ります。ありがとう。

今回の大会は、大会開始の前々日まで修学旅行という日程の中で行われました。私は内心、結果が思わしくなかった時に、この日程を理由にするのではないかと、嫌な思いでいました。確かに厳しい日程です。でも、修学旅行も大会も、その日程は前から分かっています。うまくいかなかった時に、言い訳にして欲しくない、そんな思いがありました。しかし、その心配は無用でした。私の耳には、結果と日程を結び付けた話は、一切入ってきませんでした。また、私は以前、野球部の顧問をしていましたが、自分のサインどおりのプレーが決まらなかった時、「なんで教えたとおりにできないんだ」と、失敗の原因を生徒に求めたことがありましたが、本校には、そのような顧問はひとりもおりません。そんなことないのに、「私の采配が」「私の指示が」「私のオーダーが」と、うまくいかなかった原因を顧問自身に向けていました。うちの生徒、職員、すごいです。今回の大会を終え、生徒や職員の頑張りど力強さを感じるとともに、自分の小ささを痛感しました。

6月18日(水)には、レッズハートフルフィールド駒場で、体育祭を行いました。正直、大変でした。普段使っていない場所でやるだけでも大変なのに、トラックを借りて荷物を運んだり、縮小された校庭で体育祭当日の動きを想定したり、会場管理者との様々な調整、そして、体育祭当日、朝早くからの準備、終了後の後片付けなど、リフレッシュ工事で校庭が縮小されていなければやらなくてよいことが、次の日に回せることが、生徒にも職員にも大きな負担となりました。でも、うちの生徒、職員、すごいです。その大変さを乗り越え、素晴らしい体育祭としてくれました。仲間とともに日焼けした満面の笑みに溢れる表情が、体育祭の成功を物語っていました。

今回の体育祭では、地域の自治会、町会、近隣の学校からテントをお借りし、生徒席にテントを設置することができました。実は、当日設置したテント以外に、多くの地域の方からテント貸し出しの協力をいただいておりますが、人工芝の外部会場であることの制限から、学校からお断りしたのも多数ありました。体育祭当日、様々なテントで囲まれた会場は、生徒の安全確保だけでなく、地域に見守られ体育祭が開催できている温かさを感じました。また、当日は多くの保護者の方が、体育祭開始前の準備、終了後の後片付けをしてくださいました。うちの保護者、地域も、すごいです。このような地域にある学校に勤務できることに、改めて感謝の気持ちを持ちました。

これからの時代に求められる能力や姿勢として、「常識や前提にとらわれず、ゼロからイチを生み出す能力」、「夢中を手放さず一つのことを掘り下げていく姿勢」、「グローバルな社会課題を解決する意欲」、「多様性を受容し他者と協働する能力」*があげられます。ここから考えると、これからは、人と違うことが強みとなっていきます。運動が好きな人もいれば、歌を歌うのが好きな人もいます。絵を描くのが好きな人もいれば、本を読むのが好きな人もいます。他者と共に課題を考えたいときもあれば、今は一人で考えたいときもある。学校総合体育大会や体育祭での、一人ひとりの様々な頑張りには、意味があります。Be the Player. 自分の信じた、好きなことに自信をもって取り組んでほしい。そして、May All Beings Be Well and Happy. すべての生きとし生けるものが、幸せでありますように。

*経済産業省「未来人材ビジョン」2022年5月